

科目名	老年看護学 実習Ⅱ (076233)	教員名	浅野祐子 関千代子	学科等	看護	必修	履修年次	3
				曜日・時限等	実習		単位数	3
				オフィスアワー			A203研究室(浅野, 他)	
授業概要	<p>看護援助の実践を通して、健康障害がある高齢者に対する看護を修得できるよう、基礎的知識、技術、態度を養う。高齢者の身体的諸機能、社会・家庭生活の変化、心理的特徴、日常生活行為の評価からその人の残存機能をいかし、QOLを高めるための看護ができるよう、また、看護職と他職種間のチームの連携の実際についても学習し、看護の役割を考える。さらに、高齢者への看護活動より考察した自己の高齢者観を述べる。</p> <p>関係する垂直軸:看護、健康の状態、生活環境、多職種連携</p>							
準備学習								
授業計画	到達目標・学習内容							
	<p>到達目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 加齢による身体機能の変化や、精神的社会的な特徴を理解できる。 2) 対象者がかかえる疾病や生活機能障害、残存機能などの情報を収集し分析ができる。 3) 健康障害の関連因子や諸症状から看護上の問題を抽出でき、それを全体関連図で表すことができる。 4) 看護診断に即して、個別性をとらえた看護目標の設定、看護計画の立案、そして実施・評価ができる。 5) 高齢者が健康障害をもちながら生活するために必要な社会資源について理解できる。 6) 保健医療福祉チームと看護職の連携を通して、看護師の役割がわかる。 7) 看護チームの一員として、専門職になるための責任ある行動がとれる。 8) 関わるすべての人の立場を思いやり、敬意を払い、礼節をもって接することができる。 9) 看護の実践を報告会で発表できる。 <p>学習内容</p> <p>老年期の入院患者を1名以上受け持ち、看護の実践を通して、健康障害のある高齢者および家族を総合的に理解し、老年看護に必要な基礎的実践能力を養う。</p>							
成績評価の方法・基準	老年看護学実要項の実習評価表に基づき、評価する。							
教科書	既購入書籍							
参考図書								
教員からのメッセージ	<p>病院において看護過程を展開します。学生は、健康障害のある高齢者や家族の状況、他職種とのかかわりの必要性を理解し、科学的な根拠をもとに看護を実践できるよう学習しましょう。また、対象者の生きてきた過去や価値観、尊厳をおろそかにしない心配りも大切にしてください。</p> <p>グループでの行動や発表が多くなりますので、皆で協力し合う気持ちを大切にしてください。</p> <p>季節から感染症予防対策など各自健康管理には十分に配慮しましょう。</p>							